

十勝管内

家庭教育 サポート企業通信

第3号



今回は令和3年10月、新規に協定を締結した浦幌町にある宗教法人浦幌神社様を紹介します。地域の人たちが参加する地域行事の企画・運営や、背古宮司の奥様である円さんが副本部長を務める浦幌町地域学校協働本部の活動についてお話を伺いました。



浦幌神社
乳神神社

〒089-5612

十勝郡浦幌町字東山町18番地1

代表者 背古 宗 敬 氏

従業員数 1名

業務内容 宗教活動

電 話 015-576-2448

H P <https://www.urahorojinja.org/>



地域行事の企画・運営をやろうとしたきっかけを教えてください

- 子どもたちに日本文化の素晴らしさやコミュニケーションの大切さを伝えるために、神社で年2回行っていた茶道教室に、私が指導していた空手少年団の子どもたちを参加させていたところ、地域から「少年団の子ども以外も参加できないだろうか」と相談を受け、平成18年に「浦幌体験学習会」を立ち上げ、今の活動に至っています。

これまでの学校・地域への支援活動について教えてください

- 地域の子どもから高齢者まで一緒に体験し、地域の和を大切にすることを育むことを目的に、平成21年から「和ごころ体験塾」を実施しています。体験塾では、伝統芸能の鑑賞、和太鼓や雅楽器に触れる体験、餅つきやそば打ち体験など、幅広い活動をしています。
- 食育にも力を入れて取り組んでいます。参加した子どもたちとおにぎりを作ると、作れない子どもが多くいました。体験塾の活動をとおして、作る楽しさや食の大切さを伝えていきたいです。

今後の取組予定について教えてください

- これまで実施している学びの内容に深みを持たせるために、専門家や学芸員との連携を考えています。水墨画の普及員の方とつながることができたので、体験塾の活動に取り入れたいと考えています。
- 子どもたちに何かを伝えたい専門家の方にとって、神社という場所が「伝える場」になるよう、コーディネートしていきたいです。



締結式前の懇談の中で、「企業の中には、子どもたちに協力したいと思っているところは多いが、社長や社員の子どもが学校と関わっていないと、学校と接点を持ちづらくなります。地域学校協働本部の取組を進めると、企業を含め、学校への協力者は増えていくと思います」、「【こんなことをやりたかったら、この人・企業が協力します】というリストがあると、新しく赴任した先生が助かるし、子どもたちの学びが充実しますね」とのお話を伺うことができました。子ども・地域・学校を想う、背古宮司、そして円さんの温かい気持ちが伝わってきました。

【発行・お問合せ先】

北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課社会教育指導班(田尾・山崎)

住所:〒080-8588 帯広市東3条南3丁目

電話:(0155)26-9243(直通) 平日 8:45~17:30